

「信頼」とは何か

中田 啓太

信頼とは何かについて考えたことをお伝えしたいと思います。

信頼という言葉は「信じて頼る」と書きます。その意味について考えていきたいと思います。

(1) 自分の考え

私が考える「信頼」は人間関係の中で**お互いに信じあい、お互いの長所・短所を互いに受け入れ、認め合う**ということです。そのために、お互いに理解をして、自分以外の人を認める、受け入れる力をつけないといけないと思います。

(2) 辞典より

国語辞典で調べてみると、「信じて頼りにすること。頼りになると信じること。また、その気持ち。」とあります。また、広辞苑では、「信じてたよること。」とあります。つまり、辞書的な信頼することとは「**信じあい、頼りにすること**」です。

(3) 菊池省三先生「菊池省三流 奇跡の学級づくり」より

著書の中にこのような文章がありました。「一人ひとりが豊かな言葉を獲得し、**自分を表現**する。友達との学び合いを通してさまざまな意見や考えを知り、**相手を理解**する。この積み重ねが自信をもたらし**自分と同じように相手の存在も大切に思う**信頼感を育み、温かい学級を生み出していくことを、私は実践を通して確信しています。」信頼の関係を構築するためにコミュニケーションを通して実践していくということです。

以上、(1)～(3)から、信頼という言葉の意味について考えました。信頼とは、「人間関係の中でお互いに信じ合い、頼ること」です。そして、この中の「お互いに信じ合う」ということは周囲の仲間について理解しないとできません。仲間に理解してもらうためには自分を表現していくことが必要になってきます。自分を表現するには、自らに自信を持ち周囲の仲間に受け入れてもらえるという**安心感が必要**になります。これらより信頼とは、「**安心感のある環境で一人ひとりが自らに自信を持ち、自分の力を発揮し、集団の仲間のことを理解し、認め、助け合うことができ自らの弱さを受け入れ、仲間同士で補い合うことができること**」だと考えました。

○今後の課題

今後は今回考えた信頼ということの定義を利用し、**安心感のある環境を作るにはどうしたらよいのか**について考えていきたいと思います。